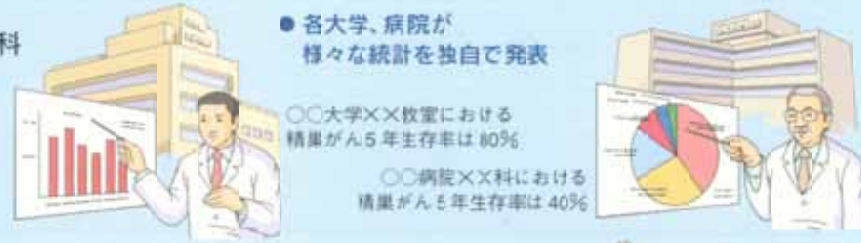


# がんの実態把握

## ■ 対がん戦略以前

がんの症例の蓄積は、主として病院の診療科や大学医学部の教室単位で行われていた。



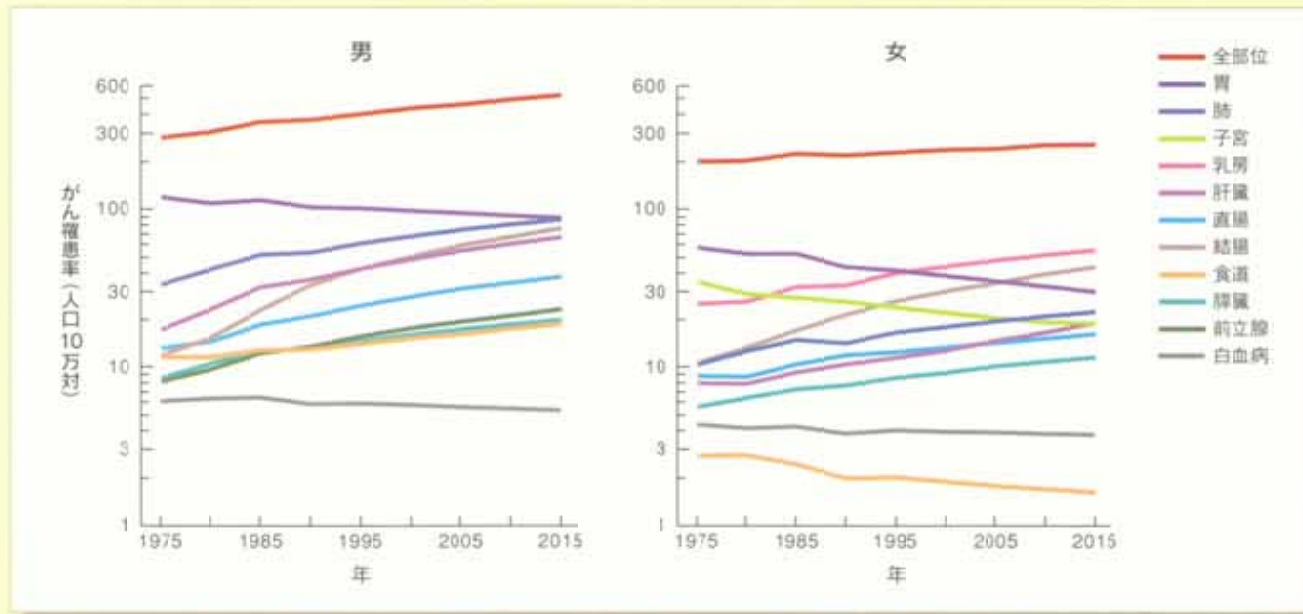
## ■ 第1・2次対がん戦略

登録精度が比較的良好な地域がん登録室が参加して、全国がん罹患データの推計を行った。



## ■ 第3次対がん10か年総合戦略における方向

院内がん登録の標準化を進め、地域がん登録の精度を向上させることにより、がんの実態を正確・迅速かつ継続的に把握する。これにより、我が国のがん対策の正しい方向付けが可能となる。

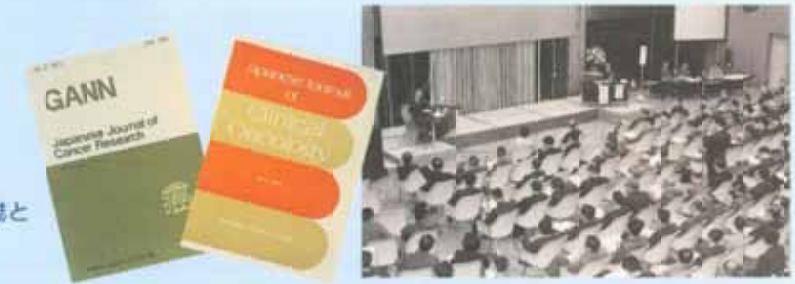


タイムリーで正確ながん罹患・死亡情報による動向の分析

# がんの情報発信

## ■ 対がん戦略以前

学術論文・学会発表などにより、主として専門家間でのがんに関する情報の交換・評価・蓄積が始まっていた。



●我が国のがん専門学術誌と学会風景

## ■ 第1・2次対がん戦略

医療従事者間の情報ネットワークが構築され、インターネットを用いた一般国民向けがん情報提供サービスが開始された。



## ■ 第3次対がん10か年総合戦略における方向

医療従事者及び一般国民向けに、各人のニーズに対応するがん情報提供システムをさらに開発・充実させ、全国的に普及を図る。



●国立がんセンターがん情報サービス

がんの正しい知識をわかりやすく解説したホームページ  
<http://www.ncc.go.jp/>



医療関係者によるがん最新医療情報の検索



それぞれのニーズに応じた情報を手軽に家庭で入手

戦略目標：我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

## がん研究の推進

1. 学横断的な発想と先端科学技術の導入に基づくがんの本態解明の飛躍的推進
2. 基礎研究の成果を積極的に予防・診断・治療等へ応用するトランスレーショナル・リサーチの推進
3. 革新的な予防法の開発
4. 革新的な診断・治療法の開発
5. がんの実態把握とがん情報・診療技術の発信・普及

# がんの罹患率・死亡率の激減

## がん予防の推進

1. がんの有効な予防法の確立
2. がん予防に関する知識の普及の促進
3. 感染症に起因するがん予防対策の充実
4. がんの早期発見・早期治療

## がん医療の向上とそれを支える社会環境の整備

1. がん研究・治療の中核的拠点機能の強化等
2. がん医療の「均てん化」
3. がん患者等の生活の質(QOL)の向上
4. 国際協力・国際交流の促進並びに産官学協力の推進

本冊子は「今後のがん研究のあり方に関する有識者会議」報告書  
(<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/03/s0331-6.html>)に基づいて作成したものである。

厚生労働省／文部科学省